

令和5年度 第3回義務教育学校検討委員会

日時 令和5年9月7日 15:30～

司会 定山溪中学校教頭 佐々木絵里子

- 1 開会の挨拶 定山溪中学校 校長 関根 昌彦
- 2 協議事項
 - (1) [義] 業者による標準服についてのプレゼン
 - (2) [義] 校歌について 別紙1
 - (3) [義] 校章について 別紙2
 - (4) [義] 校訓について 別紙3
 - (5) [義] 校名に係る意見書及び手交式について 別紙4
 - (6) [CS] 運動会などの地域との行事について 別紙5
 - (7) [CS] 小中学校から 定山溪地区における小中一貫した教育とコミュニティ・スクールのイメージ図 別紙6 定山溪小学校のパンフレット別紙7
 - (8) [CS] 地域から
- 3 連絡、その他
- 4 閉会の挨拶 定山溪小学校 校長 石川 直道

<参加者名簿>

所 属	役 職	氏 名	出欠
地域・評議員 関係	定山溪連合町内会会長	陰元 潤一	○
	定山溪地区社会福協議会会長	石川 康夫	○
	体育・青少年育成部長	江刺家 博	
	学校評議員（小中兼務）	井口 榮子	○
	まちづくりセンター所長	長岡 佑介	○
	定山溪観光協会会長	古川 雅朗	
	定山溪中 同窓会 会長	奥田 康博	
PTA 関係	定山溪小 PTA 会長	小松原 綾子	×
	定山溪中 PTA 会長	山内 幸江	○
保育園	定山溪保育園 園長	水岡 正則	
児童会館	定山溪小ミニ児童会館館長	川越 可奈子	○
学校関係	定山溪小 校長	石川 直道	○
	定山溪小 教頭	青木 純	○
	定山溪小 S V	石田 正継	○
	定山溪中 校長	関根 昌彦	○
	定山溪中 教頭	佐々木絵里子	○
	定山溪中 S V	堀 大輔	○
市教育委員会	教課推進課	中川 亜由美	×
	教育課程担当課	佐藤 雅哉	○
	家庭や地域とのつながりコーディネーター	網渕 友也	

定山溪地区義務教育学校 校歌作成に向けて

1 基本的な考え方

歌詞については、校名と同じく、児童生徒・保護者・地域関係者・教職員などから広く思いや願いを募り、「みんなで決めた」という機運を高めた形で決定していきたい。

最終的な作詞作曲については、定山溪、南区、札幌、ひいては北海道に所縁のある人物に依頼していきたい。

2 作詞

新しい校歌をつくるために、校歌の歌詞にしたい「ことば」を児童生徒・保護者・地域関係者・教職員などから募集し、集まった「ことば」の中から相応しいことばを取り入れた歌詞をつくる。

歌詞の作成は、専門家へ依頼して決定。

* 「ことば」の募集に当たっては、現校歌の歌詞も踏まえてもらう。

【定山溪小学校 校歌】

一 谷間のいずみ あたたかくわき
あしたの望み 胸にもやして
手と手をむすぶ定山溪の子どもたち
かけるよ進むよ
はずむ足どりたくましく

二 白かばの幹 あざやかに立ち
ふるさとの夢 胸にえがいて
目をかがやかす定山溪の子どもたち
のびるよ学ぶよ
はげむ心の健やかさ

三 たかねのみどり 青空に映え
大きな世界 胸にいでいて
ほほあからめる定山溪の子どもたち
はねるよおどるよ
つなぐ花輪も美しく

【定山溪中学校 校歌】

一 白樺映ゆる 坂の道
あきつ群とぶ 錦橋
日毎通いて 語り合う
友垣うれし 若人われら

二 春はうぐいす 庭広く
身体きたえて 技をねり
秋は虫音の 窓あけて
学究は深し 若人われら

三 平和の鳩の はばたきて
理想も高き 校章に
自ら努め 励むなる
日日こそたのし 若人われら

3 作曲

過去に校歌の作曲を手掛けた実績のある人物の中から人選を進める。人選にあたっては、定山溪・南区・札幌、ひいては北海道に所縁のある人物であることが望ましい。

(仮称) 定山溪地区新設義務教育学校 校歌作成に向けたスケジュール【案】

【今後の流れ】

- 9月中旬 検討委員会から教育長へ「校名に係る意見書」を提出
* 手交式：日程調整中
- 12月 令和5年度第4回定例会（参考：前年はR4.11.29～12.13）
学校設置条例の改正（学校名変更）
- 12月下旬 校歌に盛り込みたい「ことば」募集開始（ちらし作成）
* グーグルフォームで集約
- 1月中旬 募集締め切り
- 1月下旬 作詞依頼
- 3月下旬 作詞完成
- 4月上旬 作曲依頼（八木幸三先生へ）
- 6月下旬 作曲完成 * 検討委員会で確認
- 7月中旬 新校歌 お披露目式 * 報道依頼？

【作詞・作曲の依頼について】

八木先生からは、作曲期間は「2~3 か月」あれば、とのことでした。

* 作詞について相談したところ、

- ・金田一 仁志 さん（紋別市出身 俳優、演出家、脚本家、TV キャスター）
- ・山田 航 さん（札幌市出身 歌人）
- ・原子 修 さん（函館市出身 詩人、劇作家）

以上のお三方を紹介していただきました。

八木先生が作曲をするにあたっては、金田一さんだとやりやすいとのこと。

よって、第1候補を「金田一 仁志さん」で9月の検討委員会にかけていく方向で考えています。

いかがでしょうか。

* 小松原さんより、チームナックスの大泉洋さんに作詞の依頼をできないか、との案がありました。

有名人に作詞を手掛けてもらうことで、学校をPRする起爆剤になるのでは、とのことでした。

依頼にあたっては、テレビ局を通じて「番組の企画」として取り上げてもらえれば費用も抑えられるのではとのこと（2019年に番組の企画でチームナックスが定山溪小学校を訪問したという前例あり）。

→案としてはおもしろいが、八木先生の意向を第一に尊重していくべきと考えます。

(仮称) 定山溪地区新設義務教育学校 校章作成に向けたスケジュール【案】

○7月の検討委員会で名称を「札幌市立義務教育学校定山溪学園」とする方向が承認

【今後の流れ】

9月中旬 検討委員会から教育長へ「校名に係る意見書」を提出

*手交式：日程調整中

12月 令和5年度第4回定例会（参考：前年はR4.11.29～12.13） ※最速で
学校設置条例の改正（学校名変更）

*R61定になる可能性もある（参考：前年はR5.2.1～3.30）

12月下旬～1月上旬 検討委員会より正式依頼文書を提出

1月中旬 校章デザインコンペ応募開始

*校章制定への学校や地域等からの思いや願いをプレゼンする

2月中旬 応募締め切り（応募期間を「1か月間」で設定）

2月下旬 1次選考（児童生徒、地域関係者による投票）

*作品数が多い場合や望ましい作品をあらかじめ絞る場合は
「予備選考」を行うことも想定

3月中旬 最終選考（検討委員会による最終選考）

3月下旬 選考結果発表

・依頼に係る費用（予算10万円の範囲内で）

① 最優秀賞（受賞者へ） →賞金3万円（1名）

② 優秀賞（受賞者へ） →図書カード5千円分（2名）

③ 参加賞（応募者全員へ） →図書カード1千円分（5～10名程度の応募を想定）

④ 制作指導料 →3万円（担当指導教官へ） *札幌市講師謝礼基準より

定山溪地区新設義務教育学校の
「校訓」はどれがいいですか。

定山溪地区の皆様へ
義務教育学校検討委員会
CS部からのお知らせ

前回の校名募集では、多くの方々から御応募いただきました。誠にありがとうございました。義務教育学校の校名決定は、12月以降の札幌市議会にて学校設置条例の改正を受けてからとなります。さて、このたびは、義務教育学校の「校訓」について皆様の御意見を募集いたします。いただいた御意見をもとにCS部にて「校訓」を決定したいと思っております。たくさん応募をお待ちしております。

■□■校訓に作成するに当たっての考え方■□■

- 定山溪地域の願い（定山溪地区小中一貫した教育ランドデザイン）が込められたものにする。
- 覚えやすく、忘れづらいものでありながら、印象深いものとするため、また、講話などでも使用することを鑑み、地域の願いを漢字4文字で組み合わせる。

地域の願い1 「思いやり」の心が溢れ、「優しさ」で結ばれる子どもが育つ学校

→ **友愛**（読み：ゆうあい、兄弟・友人の間の親しみ。他に対して深い思いやりをもつさま。）

→ **心友**（読み：しんゆう、心の通い合った友）

校訓応募のURL

<https://qr.page/g/1oHL18MOLEE>

地域の願い2 地域が支え、いつまでも家族のようにつながり続ける「絆」が育つ学校

→ **共生**（読み：きょうせい、ふるさとで共に生きていくさま）

→ **同心**（読み：どうしん、心は同一であるさま）

校訓応募の
2次元コード



義務教育学校「校訓」応募用紙

■令和7年（2025年）4月に定山溪地区に開校する義務教育学校の「校訓」を募集します。以下の四つから校訓にふさわしいと思うものに☑してください。

心友同心

心友共生

友愛同心

友愛共生

■ その校訓を選んだ理由を書いてください。

■ あなたのお名前を教えてください。※応募された個人情報には校名の検討以外では使用いたしません。

提出方法

この応募用紙を定山溪中学校にFAX送信するか、定山溪中学校の郵便受けに入れてください。

※ 電話ではご応募できません。

定山溪中学校FAX番号

598-4576

いただいた校案については義務教育学校検討員会CS部会で検討し、校名を決定いたします。たくさんのご応募お待ちしております。

10月27日(金)締切

あなたの立場に☑を入れてください。

- 定山溪小学校の保護者
- 定山溪中学校の保護者
- 定山溪地区にお住まいの方
- 定山溪地区に通勤している方
- その他

令和5年（2023年）9月19日

札幌市教育委員会
教育長 檜田 英樹 様

（仮称）定山溪地区新設義務教育学校検討委員会
代表 陰元 潤一

定山溪地区新設義務教育学校の校名案に関する意見書

新設義務教育学校の校名案について検討を行いましたので、下記のとおり提出いたします。

記

1 校名案

札幌市立義務教育学校^{じょうざんけい}定山溪学園

2 選定理由

- 本学園に通学予定の児童・生徒、保護者に加え、地域の方々から広く校名を募集したところ、本校名案の得票数が最も多く、一番支持された名称であった。
また、検討委員会においてもこの集計結果を受けて、満場一致で本校名案を選定した。
- 本学園は定山溪小学校と定山溪中学校の統合であり、歴史ある地域になじんだ名称である「定山溪」という名前を残したいという思いと、新たな学び舎で育っていく子どもたちに、これからも豊かな自然が溢れる定山溪の地域を大切にして、他者への思いやりと自らの誇りをもって仲間と共に成長してほしいという願いが込められている。

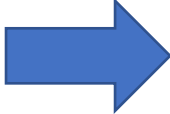
これらのことから、定山溪地区に新設される学校の校名には本案が最もふさわしいと判断した。

9月7日(木)に行われる、義務教育学校検討委員会③において、地域との関わりある行事についての提案をする予定です。

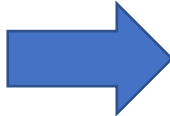
令和5年度 第3回義務教育学校検討委員会資料

○協議事項 (6) [義] 運動会などの地域と関わりをもつ行事について

① 連合町内会合同運動会 5月末、6月1週の日

小	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域参加競技あり (午前開催) <p>(学校全力走&玉入れ、地域競技①②)</p>		義務教育学校
	<ul style="list-style-type: none"> ・ なし (毎年見に行く生徒はいるようだ) 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 全校生徒で参加 (地域、保育園) ・ 午前開催が望ましい。(全市の動向を踏まえて) ・ 中学校側の参加方法は今後協議。 ・ 日曜日開催が望ましい。(月曜日振替休日) <p>(雨天順延を考慮すると延期は翌日に。雨天時に従来のように体育館(中学校)で行うことは難しい。)</p>

② 定山溪神社祭 9月10日

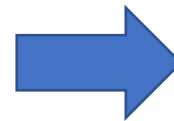
小	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9日は4時間授業の後マーチングに参加。 ・ 10日は自由参加。手鼓舞は希望をとりまとめ。 		義務教育学校
			<ul style="list-style-type: none"> ・ 9月9日においては、前期課程(1~6年)が6時間授業のあと、午後にマーチングに参加。後期課程(7~9年)は全日

	(平日開催は1時間授業?)
中	<ul style="list-style-type: none"> ・9日は通常どおり。(平日授業、休日はお休み) ・10日は自由参加(この日は開校記念日で生徒休み)

授業。(土日祝日の場合は検討が必要) <ul style="list-style-type: none"> ・9月10日においては、義務教育学校開校記念日? であるため、児童生徒は休日となり、午前からの参加が可能となる。
--

③定山溪雪灯路 1月末頃

小	<ul style="list-style-type: none"> ・全校児童で作成、設置は中学校で。
中	<ul style="list-style-type: none"> ・中1、2で作成、定山溪神社に設置



義務教育学校
<ul style="list-style-type: none"> ・低中ブロックまたは1～8年生で作成を継続。設置(回収)に関しては、中ブロックまたは5～8年生で行う。

④雪中運動会 2月1週平日

小	<ul style="list-style-type: none"> ・午後開催(1時間程度) ・R5年度より、地域参加競技あり。
中	<ul style="list-style-type: none"> ・なし



義務教育学校
<ul style="list-style-type: none"> ・午後開催 ・地域参加競技も継続(連合町内会) ・低、中ブロックまたは1～8年生の参加は可能

⑤学園祭(学習発表会、文化祭)

小	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日曜日に午前開催 ・ 全校音楽(合唱、マーチング)、全校発表
中	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1日日程 (お昼は給食ではなく、豊平峡カレー?) ・ 学年ごとにステージ発表、全校合唱、定山溪からの発信



義務教育学校	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日曜日開催(月曜日振替休日) ・ ブロック(低中高)ごとによるステージ発表 ・ 全校合唱 ・ マーチング(前期1~6年?) ・ 定山溪からの発信(9年生) ・ 保育園の参加も打診(当日もしくははりハの日)

⑥スキー学習

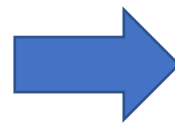
小	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1回目は定山溪中と貸し切りバスで国際スキー場へ
中	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1回目は定山溪小と貸し切りバスで国際スキー場へ ・ 2回目はじょうてつバスでFu'sスキー場へ ・ 中1、2の参加 ・ 2回目のスキー輸送は中定建設



義務教育学校	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1回目は5~8年生(路線バスでFu's)、2回目は1~8年生(貸し切りバスで国際)? ・ グラウンドに山をつくる?

⑦和齒 8020 ワールド

小	<ul style="list-style-type: none"> ・ 午後開催で全校児童が参加。 ・ 保護者、評議員が参加。
中	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中1がオンラインで視聴予定。



義務教育学校
<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続については協議中。 ・ 発表学年は教務研修係で現在検討中。 ・ 当日は、全校児童生徒で参加可能。

地域との関わりとは別に中学校独自で行われている行事があります。

継続したいもの、なくなるもの、合わせるもの、ブラッシュアップするもの・・・徐々に考える段階にきています。

もちろん、求めたからすべて叶うわけではありませんが、生徒、保護者、地域、学校にとって必要な行事であれば・・・。

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒会入会式 ・ 生徒総会 ・ 陸上記録会 ・ 旅行的行事発表会 ・ PTA 親子レク ・ 球技大会 ・ 生徒会合同集会 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 昼休み企画 ・ 3年生を送る会 |

【義務教育学校の基本的な考え方】

指導区分を踏まえた9年間一体の学校として運営、幅広い異年齢集団活動を重視。

【コミュニティ・スクールの基本的な考え方】

学校・保護者・地域が育てたい子ども像を共有し、連携・協働して**子どもの声を反映**させながら、学校づくりを進めていく。

■ 学ぶ力の育成

- 全ての学年における発達の段階に応じた**定山溪スタイル**(課題探究的な学習)の実施。
- 9年間を通した指導と評価の一体化。
- 幅広い**異年齢集団**を生かした**学習活動**の実施。

■ 豊かな心の育成

- 9年間を通した**学校全体**での**子どもの見守り**。
- 9年間の発達の段階に応じた**児童生徒の主体性や思いやりの心**を育む指導。

■ 健やかな体の育成

- **運動習慣の確立**を意識した**子どもの運動機会**を創出する仕組みづくり。
- 9年間を生かした**基本的な生活習慣の確立**、**食育の推進**、**命を大切にする指導**。

■ 定山溪スタイル

- **学び方**
「課題をつかみ、解決方法を探し、試行錯誤して、解決へ向かう」一連の学習スタイル。自ら進んで学習する能力を身に付ける。
- **発信**
自らの考えをまとめ、相手に伝わるよう表現の仕方を工夫し、世界に向けて発信する。

■ 義務教育学校での授業(予定)

- 5年生から50分授業を開始。
- 5年生から専科指導、後期課程教員による乗入授業の開始。(国)数社理英を予定。
- 音体美(図)は全学年専科指導。

定山溪地区新設義務教育学校教育目標

自ら考え共に学ぶ
人や自然を愛する
健やかに伸びていく
定山溪の子ども

目指す子どもの姿

- (知) 自分で考え、判断し、他と協働しながら粘り強く物事に取り組む子ども
- (徳) 全ての人に思いやりをもって接し、ふるさとや自然を大切にする子ども
- (体) 心身の健康を意識し、体育や食育を通して自己管理できる子ども

校訓「○○○○」

- 「思いやり」の心が溢れ、「優しさ」で結ばれる子どもが育つ学校
- 地域が支え、いつまでも家族のようにつながり続ける「絆」が育つ学校

1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年
----	----	----	----	----	----	----	----	----

低ブロック
(低学年)

中ブロック
(中学年)

高ブロック
(高学年)

学校支援部

- 連合町内会等、観光協会、学校評議員や同窓会などの地域人材及び保育園児童会館などの教育関係者の9名で構成する。
- 教育活動における地域人材、地域資源を活用した取組を積極的に調整する。
- 学校と連合町内会が共催する行事について、企画・熟議・運営を行う。
- 青少年健全育成推進会、スクールゾーン実行委員会、学校関係者評価委員会なども含み、将来的には本部に統合する。

P T A 部

- 家庭と学校が緊密な連絡のもとに地域社会と協力して生徒の人間形成に努めるとともに、生徒の生活環境を改善し、健康安全の維持増進を図る。
- 学校とP T Aが共催する行事について、企画・熟議・運営を行う。
- 持続可能な組織づくりのため、「最小限」と「兼務」がポイント。

■ 特色ある教育活動

- 郷土の特性を活かした自然をテーマとした環境教育の実施。(森林教室)
- 正しい生活習慣を身に付けることの大切さを、歯と口の健康から考えていく活動。(和歯8020運動)

■ 特別活動

- 指導区分を生かした**クラブ活動と部活動**の工夫。
- **系統性のある**文化的行事、健康安全・体育的行事の整理と工夫。